

鎌倉市SDGsつながりポイント かわら版



鎌倉市SDGsつながりポイントは鎌倉市で導入されている、人と人をつなげるコミュニティ通貨です（「まちのコイン」というアプリを利用します。コインの名前は「クルッポ」）。このかわら版では、鎌倉市SDGsつながりポイントを通じて地域の人と仲良くなった！という体験などをお伝えします。

五月十九日に鎌倉海浜公園でコミュニティ・マーケット「鎌人いち場」が開かれました。「鎌人いち場」は、今年で二四回目を迎える地域のイベント。フリーマーケットやライブパフォーマンス、ワークショッ

SDGsにつながる活動で特別な体験を

から子どもまで、たくさんの方が集ってつながりの輪が広がる、住民同士の情報交換や交流を目指したイベントです。

今回面白法人カヤックは、クルッポをめいっぱい使える「面白法人クリエイティブ市場」を出店しました。

市民のみなさんやお店などからいただいた、小さくなって着れなくなってしまった子供服や、読み終えた本、戸棚に眠っていた食器などのまだまだ使える「もったいないもの」を「クルッポ」と交換できる「まちのもったいないマーケット」。鎌倉市と慶應義塾大学が共同研究として取り組んでいる「しげんポスト」（シャンプー・食器用洗剤などの生活清潔用品のつめかえバックごみを持参してポストへ入れると「クルッポ」がもらえ、集まったつめかえバックはまたつめかえバックに再生されたり、ベンチやブランターなど街のアイテムに生まれ変わる仕組み。）。

御成通り商店街にあるカプセルトイレ専門店「御成カプセル」も鎌人いち場に出張し、「まちの社員食堂」のお食事券や、カヤックオリジナルグッズなどが当たるガチャに人が集まりました。

その横では、「ポケカ対決で勝ったら五〇〇クルッポをプレゼント」「三九〇クルッポであなたのお悩みをプレスで解決」など、カヤック社員が提供する体験コンテンツも。プレス体験には「中間管理職のつらさを



解消したい」という切実なお悩みから、「幸せ指数をあげたい」という人生の大ネタまでさまざまな悩みが集まったとか。中でも、デザイナーの「一〇〇〇クルッポであなたの似顔絵を描きます」が大人気。大人から子どもまでお客さんがひっきりなしに訪れ、二時間で一〇人以上の似顔絵に。来場者の笑顔を引き出していました。

みなさんがごみ拾いやフードロス削減など、日常的にSDGsにつながる活動をしたことで溜めたクルッポをたくさん使えるお楽しみの機会にもなり、地域の方々とふれあいや新たな出会いがたくさん生まれた一日となりました。